



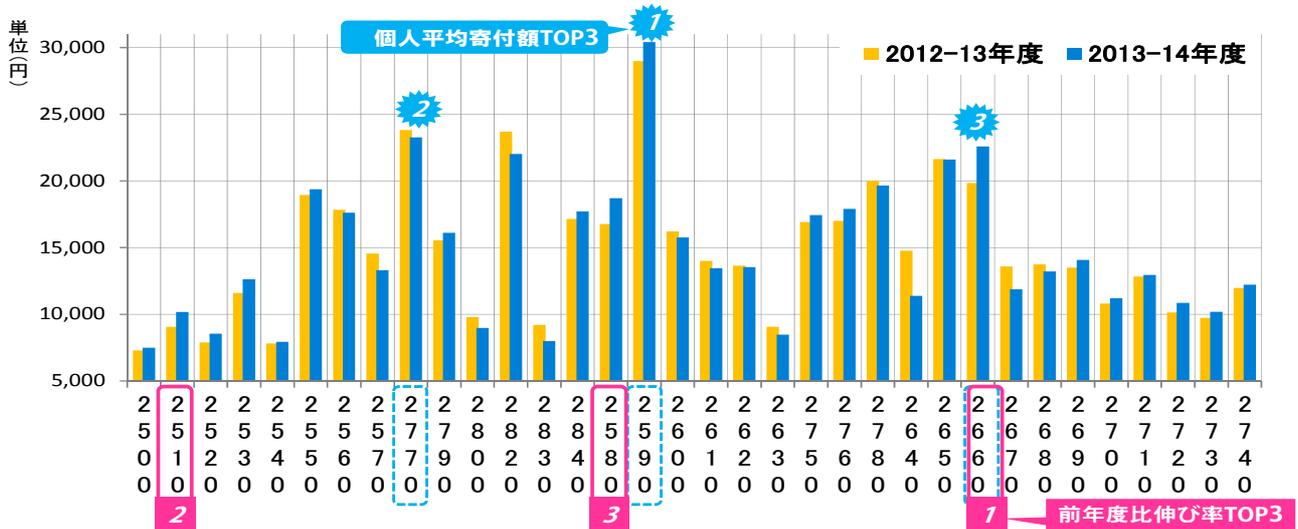
# ハイライトよねやま 172

2014年7月11日発行  
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

## 2013-14 年度寄付金結果 — 直近 5 年間で最高額 —

2013-14 年度の寄付額は約 13 億 3,700 万円でした。前年度と比べて 0.9% 増（普通寄付金 0.1% 増、特別寄付金 1.3% 増）、約 1,200 万円の増加です。寄付金総額は過去 5 年間で最高額に達し、個人平均寄付額は昨年に引き続き 1 万 5 千円台を超えた 15,200 円となりました。また、34 地区中 19 地区が前年度の個人平均寄付額を上回りました。特別寄付をしてくださる会員の割合も年々増加し、今年度は 41% となりました。会員皆様のご努力に厚く御礼申し上げます。

新年度も引き続きご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



### 個人平均寄付額 TOP 3

- 1 第 2590 地区 : 30,414 円
- 2 第 2770 地区 : 23,261 円
- 3 第 2660 地区 : 22,591 円

### 個人平均寄付額の前年度比伸び率 TOP 3

- 1 第 2660 地区 : 113.8%
- 2 第 2510 地区 : 112.2%
- 3 第 2580 地区 : 111.6%

## 寄付のかたち — 500 円玉貯金で毎年功労者に —



500 円玉を手にする水口会員(左)と林会員(右)

第 2610 地区元米山奨学委員長、林和夫さん（富山みらい R C）が今年 6 月、第 16 回米山功労者となりました。林さんは 2007 年から“500 円玉貯金”を始め、毎年 10 万円を寄付してくださっています。

“500 円玉貯金”による寄付を始めたきっかけは、同じクラブの水口益克会員が例会で、「500 円玉貯金をして 1 年間分を米山に寄付している」とスピーチしたこと。以来、買い物や外食の支払いでは 500 円玉でおつりをもらうよう意識し、500 円玉が手に入るたびに貯金箱に入れていきます。

「地区米山委員長になる前は、大した関心もなく寄付をしていた。米山に関わらなかつたら、私にとってロータリアンであることは単なるステータスにすぎなかつたかもしれない。表彰対象の 10 万円を一度に捻出するのは大変だが、どうやって 500 円玉で釣りをもらうか知恵をしぼり、貯金箱の重さを楽しみながら寄付している」と、米山奨学事業への熱い思いを語ってくださいました。

## 第2回地区米山奨学委員長セミナー開催報告

新年度を目前に控えた6月18日、次期（2014-15年度）地区米山奨学委員長対象の第2回セミナーを都内で開催しました。今回のセミナーでは『米山奨学生として相応しい学生を採用するために』をテーマに、選考に重点を置いた研修が行われました。

午前のプログラムは、国内で最も活発な米山学友会の一つ、第2780地区学友会の<sup>オウゴウ</sup>王剛元会長と、同地区の小野良太郎次期委員長が「自立した学友会運営」について話したほか、過去17年個人平均寄付額1位の第2590地区から倉知恒久委員長が「寄付増進の方策」について地区での取り組みを紹介しました。午後は、毎年好評の安増惇夫第2700地区理事による「選考の流れ」の講義の後、3グループに分かれて、模擬書類選考会と質問検討会を実施。ファシリテーターの進行のもと、面接での有効な質問、書類選考の着目点について意見交換を行いました。全国から参加した各地区委員長からは「他地区の成功例を聞いて良かった」「事前の課題は少々大変だったが、セッションでの意見交換は有意義だった」など、好評の声を頂きました。



## 『飲水思源』をテーマに170人が出席 — 関西米山学友会 —

7月6日に大阪市内で開催された「米山奨学生学友会（関西）」（第2660地区／以下、関西学友会）の総会および新規奨学生歓迎会には、昨年同様、台湾・韓国・タイなど海外学友会役員や国内他地区からの学友会会員・ロータリアンも多数駆けつけ、総勢約170人が出席する盛会となりました。

今回の総会テーマは『飲水思源』。米山記念奨学金制度がなければ出会えなかった縁、ルーツを考える場にしたいと、米山梅吉翁の生涯を紹介する朗読劇が披露され、学友らの熱演に、会場からは惜しみない拍手が送られました。

あいさつに立った<sup>ホーユーツイ</sup>何玉翠関西学友会会長は、昨年10月のネパール学友会創立総会に参加した際、初対面と思えないほどネパールの学友たちと打ち解けること



朗読劇を熱演

ができたというエピソードに触れ、「米山には国境が無く、学友会にも境界線が無いから、どこでも温かく迎えてくれる」と話し、「今後も国際的なロータリーの活動と、米山奨学生のサポートができるよう努力したい」と結びました。

関西学友会の活発な活動と地区ロータリアンとの連携・交流の様子に刺激を受け、他地区から参加した学友会会員や米山奨学委員長からは「早速アイデアを持ち帰り、改革を試みたい」との声も聞かれ、今後の広がりが期待されます。



NEW

### DVD シリーズ『学友マイ・ストーリー』第1弾 近日発行！

1人の学友の活躍を1つのDVD作品にまとめた『学友マイ・ストーリー』シリーズを近日発行します。優れた米山学友の卓話を聞くイメージで、例会等で上映していただけます。第1弾は、スーダン出身のモハメド・オマル・アブデインさん。ご希望のクラブにはDVDを無料でお送りします（7/18～）。ご注文は当会事務局・広報担当まで。